

2024年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月31日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東  
 コード番号 4750 URL https://www.daisan-g.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 (氏名) 河野 良亮 TEL 06-6243-6341  
 財務経理課 担当部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月31日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第1四半期の連結業績（2023年4月21日～2023年7月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第1四半期	2,464	0.9	△20	—	△14	—	△12	—
2023年4月期第1四半期	2,442	10.1	△183	—	△150	—	△104	—

(注) 包括利益 2024年4月期第1四半期 △6百万円 (—%) 2023年4月期第1四半期 4百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第1四半期	△1.97	—
2023年4月期第1四半期	△16.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期第1四半期	10,033	5,308	52.9	827.79
2023年4月期	10,097	5,379	53.3	838.82

(参考) 自己資本 2024年4月期第1四半期 5,308百万円 2023年4月期 5,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年4月期	—				
2024年4月期（予想）		11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年4月期の連結業績予想（2023年4月21日～2024年4月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.4	300	—	336	—	186	—	29.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年4月期1Q	7,618,000株	2023年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2024年4月期1Q	1,205,162株	2023年4月期	1,205,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年4月期1Q	6,412,838株	2023年4月期1Q	6,412,868株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりましたが、長期化するウクライナ情勢、世界的な金融引き締め等による海外経済の下振れリスク、円安の進行等による物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社に関連の深い住宅業界については、新設住宅着工戸数は貸家が前期比で微増となっておりますが、全体では減少傾向が続きました。

こうした状況において、当社では当事業年度を最終年度とする中期経営計画を進めており、「既存事業の再構築と事業間連携の強化」、「新市場の創造と東南アジアでのビジネス基盤確立」、「未来社会に貢献するヒト創りと商品サービスの開発」、「ヒトとデジタル技術をつないだビジネス革新」、「ES(従業員満足)ファーストのガバナンス体制構築」を5つの重点戦略として設定し、将来を見据えた収益性の高い事業構造への転換を進めております。当期間においては、人材育成のためオープンバッジを用いた社内研修制度の開始など、人的資本への投資を計画通り進めました。また、全社員を対象とした給与のベースアップを実施しました。

なお、全社業績に関して、売上高は昨年並みとなりましたが、利益面では大きく持ち直すこととなりました。これは前期に計上した減損損失による減価償却費の減少、賞与引当金繰入額の減少等の影響によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,464百万円（前年同期比0.9%増）、営業損失20百万円（前年同期は営業損失183百万円）、経常損失14百万円（前年同期は経常損失150百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失104百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、新設住宅着工戸数において持ち家の減少が続く中、主要な取引先である大手ハウスメーカーの住宅の受注は昨年比で低調に推移しました。

このような状況の中、当事業においては、商品別でリフォーム、注文住宅向け工事に伸び悩みが見られましたが、販促を進めてきた中層大型建築物向け工事の売上が伸長し、全体では微増となりました。

利益面では、昨年来の物価上昇を背景に、業界及び施工スタッフの地位向上に向けた値上げ交渉を進めましたが、給与のベースアップや、レンタル市場の開拓を目論んだ部材の追加投入による減耗費の増加等もあり、当期間における利益への影響は限定的なものとなりました。

以上の結果、売上高は1,681百万円（前年同期比2.7%増）、売上総利益は427百万円（同3.2%増）となりました。

#### ②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、民間建設投資は企業収益の改善等を受けて比較的堅調に推移したものの、鋼材価格の高止まりとそれに伴うレンタル需要の高まりから、市況全体で購買意欲の低下が見られました。

このような状況の中、当事業においては、商品別では中層大型建築物向けに安全性を高めた次世代足場「レボルト」について引合いが増加したものの、前年同期では販売価格引き上げ前の一時的な買い増しの動きがあったことから、売上、利益ともに前年同期比で減少となりました。

以上の結果、売上高は292百万円（前年同期比32.7%減）、売上総利益は88百万円（同34.7%減）となりました。

#### ③海外事業

海外事業につきましては、在外子会社のあるシンガポールでは、欧州及び中国の景気減速への懸念などを受けて、景気は鈍化しました。

このような状況の中、当事業では前期のコロナ規制中に採用を進めていたワーカーの稼働により売上は拡大し、利益面ではワーカー一人当たり売上高の伸長による採算性向上、前期に計上した減損損失による減価償却費の減少などにより、売上総利益が大きく伸長しました。

以上の結果、売上高は472百万円（前年同期比33.6%増）、売上総利益は133百万円（同94.4%増）となりました。

④その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は18百万円（前年同期比6.5%増）、売上総利益は14百万円（同10.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,033百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が213百万円減少、貸貸用仮設材が153百万円増加したことによるものであります。

負債は4,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が53百万円増加、賞与引当金が94百万円減少、流動負債のその他に含まれるリース債務が56百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少の5,308百万円となり、自己資本比率は52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績予想に関する事項につきましては2023年6月5日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,362	1,222,322
受取手形、売掛金及び契約資産	2,133,875	1,919,993
電子記録債権	128,048	51,890
棚卸資産	1,317,191	1,317,603
賃貸用仮設材	1,280,801	1,434,394
その他	87,382	101,667
貸倒引当金	△32,093	△31,902
流動資産合計	6,182,568	6,015,969
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,757	1,656,757
その他(純額)	1,090,337	1,198,197
有形固定資産合計	2,747,095	2,854,955
無形固定資産		
その他	129,512	119,365
無形固定資産合計	129,512	119,365
投資その他の資産		
その他	1,061,658	1,070,118
貸倒引当金	△23,741	△27,260
投資その他の資産合計	1,037,916	1,042,858
固定資産合計	3,914,524	4,017,178
資産合計	10,097,092	10,033,148
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,133	447,391
電子記録債務	272,816	326,282
短期借入金	1,792,640	1,804,080
未払法人税等	770	2,644
賞与引当金	146,469	51,781
その他	1,072,298	1,166,394
流動負債合計	3,794,128	3,798,575
固定負債		
長期借入金	618,353	583,354
債務保証損失引当金	34,199	30,699
資産除去債務	139,193	139,596
その他	132,024	172,412
固定負債合計	923,771	926,062
負債合計	4,717,900	4,724,638

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	930,603	930,603
利益剰余金	5,147,849	5,071,065
自己株式	△919,012	△919,012
株主資本合計	5,259,440	5,182,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33	△4
為替換算調整勘定	119,785	125,857
その他の包括利益累計額合計	119,752	125,853
純資産合計	5,379,192	5,308,509
負債純資産合計	10,097,092	10,033,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月21日 至 2022年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月21日 至 2023年7月20日)
売上高	2,442,233	2,464,804
売上原価	1,810,415	1,800,281
売上総利益	631,817	664,522
販売費及び一般管理費	815,766	684,609
営業損失(△)	△183,949	△20,087
営業外収益		
受取利息	2,201	831
受取配当金	135	180
助成金収入	28,820	14,835
その他	7,658	3,281
営業外収益合計	38,816	19,129
営業外費用		
支払利息	2,442	8,155
減価償却費	1,165	1,276
貸倒引当金繰入額	—	3,500
その他	1,525	783
営業外費用合計	5,133	13,716
経常損失(△)	△150,266	△14,674
特別利益		
固定資産売却益	—	799
債務保証損失引当金戻入額	—	3,500
特別利益合計	—	4,299
特別損失		
固定資産除却損	650	—
減損損失	—	13,144
特別損失合計	650	13,144
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,917	△23,519
法人税、住民税及び事業税	2,045	2,091
法人税等調整額	△46,833	△12,956
法人税等合計	△44,788	△10,864
四半期純損失(△)	△106,128	△12,654
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,525	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△104,603	△12,654



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月21日 至 2022年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月21日 至 2023年7月20日)
四半期純損失(△)	△106,128	△12,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	29
為替換算調整勘定	110,795	6,071
その他の包括利益合計	110,796	6,100
四半期包括利益	4,667	△6,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,209	△6,554
非支配株主に係る四半期包括利益	1,458	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月21日 至2022年7月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,636,141	434,793	353,517	2,424,453	17,779	2,442,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,636,141	434,793	353,517	2,424,453	17,779	2,442,233
セグメント利益	414,589	134,856	68,811	618,258	13,558	631,817

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月21日 至2023年7月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,681,035	292,661	472,178	2,445,875	18,928	2,464,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,681,035	292,661	472,178	2,445,875	18,928	2,464,804
セグメント利益	427,755	88,043	133,777	649,576	14,945	664,522

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	全社(共通)	合計
減損損失	13,144	13,144